第3回田園都市青葉·気候市民会議 2024年2月18日

提案づくりのための提案(ガイダンス)

「田園都市青葉・気候市民会議」運営委員会 委員 梶原成元

提案すべきものは?

脱炭素な暮らしが可能な青葉区にするための提案

そのために、これまでの検討の成果を踏まえ、

A: 移動、B: 住まいとエネルギー、C: 消費とライフスタイル、D: 知識・情報 の4分野で

- ①「望ましい未来像」は何かと思い描き、
- ②「できるとよいこと」は何か、達成すべき具体的な「課題」を抽出し、
- ③課題を達成する上で考えておきたい「青葉の特長・強み」を確認し、
- ④市民、事業者の方々などの地域主体、市・区などの行政など、関係者は、それぞれ、 何をやるのかを考える ことが重要

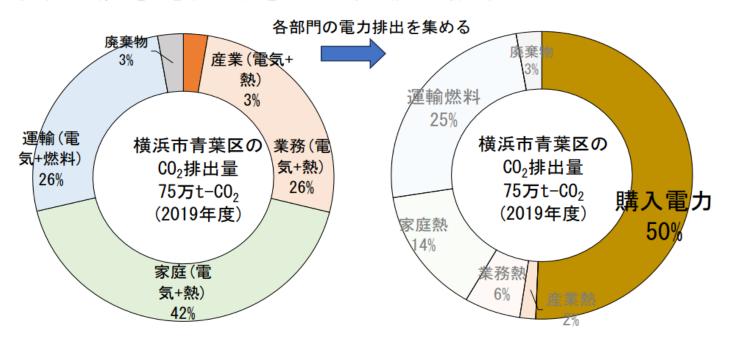
グループワークでは、

- ①「望ましい未来像」「できると良いこと」にもっと付け加えるものはないのか?
- ② 誰が、何をやるのか? を考える

そもそも、どこから温室効果ガスは出ている?

横浜市青葉区のCO₂排出割合(2019年度、推定)

青葉区は家庭が4割。業務(オフィスなど)など、家庭以外の排出もある。 右は各部門の購入電力を集めた。電力が区全体の排出の約5割



産業部門:工場など。他に建設業、農林水産業、鉱業

業務:オフィスとサービス業(エネルギー供給業と運輸業除く)

家庭:住宅内のエネルギー

運輸:自家用車も含む車、鉄道、船舶、航空 廃棄物:主にプラスチックと廃油の燃焼 横浜市「横浜市温室効果ガス排出量」(2019年度)、 総務省統計局経済センサス活動調査、人口統計、自動車保有 台数、軽自動車車両数より自治体排出量環境省ガイドライン 準拠で推計。

出典:歌川学、産業技術総合研究所、第2回市民会議

本日のグループワークのまとめ方:成果をイメージ

4つの分野(A: 移動、B: 住まいとエネルギー、 C: 消費とライフスタイル、D: 知識・情報) に分かれて

1望ましい未来	2課題	③青葉の特徴・強み
4市民は、〇〇〇をする	5地域主体***は、○○○をする	●市・区は、○○○をする

例えば、住まいとエネルギーの分野で

分野	望ましい未来像↩	「できるとよいこと」↩
B.住まい	1.住まいの省エネ・断熱が進	a)住宅の省エネ策の大幅強化、二重サッシの導入↔
とエネル	んでいるまち↩	b) 省エネモデル住宅/省エネ相談所/省エネ·断熱無
ギー↩		料診断、ペアガラスコストアプリ↩
		c) 省エネ家電に買い替え↔
		d) 2 年で元が取れる↩
	2. 住まいでの創エネ、再エネ化	a)全戸太陽光の設置/マンションの屋上に太陽光↩
	が進んでいるまち↩	b)公衆が多く集まる場所に脱炭素モデル住宅展示/-
		軒ずつ診断/インフォメーションセンター↩
	4	c)再エネ 100%の電力購入↔
		d)再エネ·省エネ施設の導入が 2 年で元が取れる↔
	3. 地域ぐるみで再エネ化が進	a) 公共施設に太陽光を設置↩
	んでいるまち↩	b) ペロブスカイトの活用の推進↩
		c)青葉区太陽発電所構想、再エネ特区とする↩
		d)蓄電設備が地区内に↩



付け加えるものはないのか?

〇「望ましい未来像」「できるとよいこと」は 他にないかな?

誰が、何をするのか?

○市民が? 様々な地域主体が? 行政が? ○○と××が連携して? [^]○具体的に何をする?

例:省エネ・再エネの促進する手段

- ・誰が、どんな情報を提供する?
- ・情報をもらって、市民は何をする?
- ・住宅産業に何してもらう?働きかけは?
- ・家電製品店に何してもらう? 働きかけは?
- ・行政は何をする?どんなルールが欲しい??

例えば、消費・ライフスタイルの分野で

分野	望ましい未来像↩	「できるとよいこと」(
C.消費と	1.低炭素な食生活ができるま	a)地産地消策の奨励、地元産食材の料理紹介↔
ライフスタ	5 ₽	b)地元食材の移動販売、共同販売所の設置↩
イル↩		c)カーボンフットプリントの低い食生活/代替肉↩
		d) 子ども食堂/メルカリ↩
	2. 食と農の循環が見えるまち↩	a)共同農園の促進/家庭菜園の拡充↔
		b)コンポストの促進↩
	3. 低炭素な商品選択ができる	a) 国産製品の利用
	まち↩	b) 製品にカーボンフットプリントの表示↔
	4.ごみの発生が少ないまち↩	a)リユースを地域内で活性化↔

誰が、何をするのか?



- 〇市民が? 様々な地域主体が?
 - 行政が? OOと××が連携して?
- ○具体的に何をする?



付け加えるものはないのか?

- 〇「望ましい未来像」「できるとよいこと」は、他にないかな?
 - 例:4. ごみの発生の少ないまち
 - b) 長期利用による廃棄物の発生の防止(何を)
 - c) 不要プラの利用削減、廃棄プラの有効利用